

岩手県立大学 総合政策研究科 博士前期課程 アセスメント・ポリシー

【ディプロマ・ポリシー】

No	内 容（学生が修了までに身につけるべき能力）
DP1	自然や社会における現象の中から問題を発見し、適切な研究課題を設定できる
DP2	急激な社会等の変化を敏感に察知し、又は先んじて自らの行動や研究テーマを柔軟に変えることができる
DP3	問題に対して専門的な調査分析を行い、理解を深めることができる
DP4	問題の解決のために、自らの専門分野だけではなく、他の分野の視点を踏まえた総合的な思考ができる
DP5	思考の結果を適切な方法で第三者に伝えることができる

【アセスメントの実施計画】

	項目	方法	時期	対応 DP	結果の活用（公開方法）	実施者
1 年次	研究指導計画書 1	入学時計画を踏まえ具体的テーマと方法を定める	5 月	DP1、4、	研究科委員会で内容の審議・確認	総合政策研究科
	研究成果報告書	成果・課題を確認し次年度の作業方針を定める	3 月	DP1、3、4	研究科委員会で内容の審議・確認	総合政策研究科
2 年次	研究指導計画書 2	論文作成の作業内容・スケジュールを定める	4 月	DP1、2、4	研究科委員会で内容審議・確認	総合政策研究科
	研究成果発表会	1 年次の成果発表と研究科全体での指導	5 月	DP3、4、5	学内外に公開する	総合政策研究科
	修士論文構想発表会	研究成果確認と完成に向けた研究科全体での指導	9 月	DP3、4、5	学内外に公開する	総合政策研究科
	修士論文発表会	研究成果の対外的な発表	2 月	DP4、5	論文の公開 論文概要の公開（総合政策学会「総合政策」）	総合政策研究科